

対象クラス	1年 生活文化科	単位数	2
使用教科書	新家庭総合 パートナースhipでつくる未来 (実教出版)		
使用副教材	生活学Navi 資料+成分表 (実教出版)		

「家庭総合」はこんな科目です。

人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に学習します。また、家庭や地域の生活課題を主体的に解決し、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を身に付けることを目指しています。

科目の到達目標 (目標とする検定等)

- ・人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識や技術を総合的に習得し、自分および家族の生活の場で生かすことができる意欲と態度を身に付けます。
- ・自分の家庭や地域の生活に関心を持ち、各自の生活課題を解決して生活の充実向上を図るための能力と実践的な態度を身に付けます。

評価の観点	評価規準・評価内容	評価方法等
関心・意欲・態度	家庭や地域の生活に関心を持ち、意欲的・主体的に生活課題を解決しようとしているか。	授業態度、提出物の提出状況、ホームプロジェクトの取組状況、提出物
思考・判断・表現	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識や技術を、自分および家族の生活の場で活かしているか。	定期考査、ホームプロジェクトのまとめと発表、提出物
技能	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する技術を身に付けており、生活の中で実践できているか。	授業態度、ホームプロジェクト、制作物、提出物
知識・理解	人の一生と家族・家庭、子どもや高齢者とのかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と生活の充実向上を図るための能力を身に付けているか。	ホームプロジェクト、定期考査、提出物

学習計画 (どのような内容を、どの時期に学ぶのか)

	単元名	学習内容	学習活動のねらい
前期中間	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 1編 人とかかわって生きる 1章 自分らしい生き方と家族 【前期中間考査】	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動 1 自分を見つめる 2 自立した生き方、共に生きる人生 3 共に生きる家族	・「家庭総合」を学ぶ目的や意義を理解し、学習の内容や、授業のルールを知る。 ・家庭クラブ活動とHPの意義を理解し、積極的に参加する姿勢をもつ。 ・「自立」について考え、生涯を見通した自分の生き方を考える。 ・家族・家庭の意義を理解し、家族の一員としての役割をえ、実践できる。
前期期末	・ホームプロジェクト 2章 子どもとかわる 【前期期末考査】	4 家族に関する法律 5 私たちの生活を支える労働と生活時間 ・ホームプロジェクトの計画と実施 1 子どもを知る 2 発達のすばらしさ	・家族に関する法律を知る。 ・社会と家庭の関係を理解し、家族の一員として男女が協力して家庭を築き、生活を営むことの重要性を認識する。 ・生活課題を見つけ、課題解決に取り組みレポートにまとめ発表する。 ・子供の発達と生活について知り、命の尊さを理解する。
後期中間	3章 高齢者とかわる 【後期中間考査】	3 子どもの生活 4 親になることを考えよう 5 すこやかに育つ環境 1 高齢社会に生きる私たちの暮らし 2 高齢者を知る 3 高齢者の自立のために私たちができること 4 豊かな高齢期を迎えるしくみ	・乳幼児期が人間の発達段階において重要な時期であることを知り、子育てにおける環境の大切さを理解する。 ・親の役割と子育て支援・子どもの権利と福祉について理解する。 ・高齢者や高齢者を取り巻く社会の課題を理解する。 ・高齢者の生活支援のあり方について考える。 ・高齢者の自立生活を支える高齢者福祉の基本的な理念と高齢者福祉サービスについて理解する。
後期期末	4章 社会とかわる 3編 消費者として自立する 1章 消費行動を考える 2章 経済的に自立する 【学年末考査】	1 支えあう暮らしとは 2 私たちの社会福祉 3 地域社会の一員としてのボランティア活動 1 消費行動と意思決定 2 社会の変化と消費生活 3 消費者の権利と責任 4 持続可能な社会環境 1 経済のしくみを知る 2 ライフステージと経済計画 ・1年間のまとめ	・社会の一員として、具体的に何ができるか考える。 ・意思決定の過程とその重要性について理解し、消費者として主体的に判断できるようにする。 ・持続可能な社会を目指して資源や環境に配慮し、適切な意思決定に基づいた消費生活を営むことができる。 ・経済の仕組みについて理解し、生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性について知る。 ・1年間の学習を振り返り、2年生の学習の目標を決める。